

世界の潮流

ハイテク覇権

中国ビッグデータ都市の貴陽市と貴安新区①

国際社会経済研究所
(NECグループ) 上席研究員

原田 泉



定された。しかし産業の基礎がなく、鳴かず飛ばずの時期が続いた。

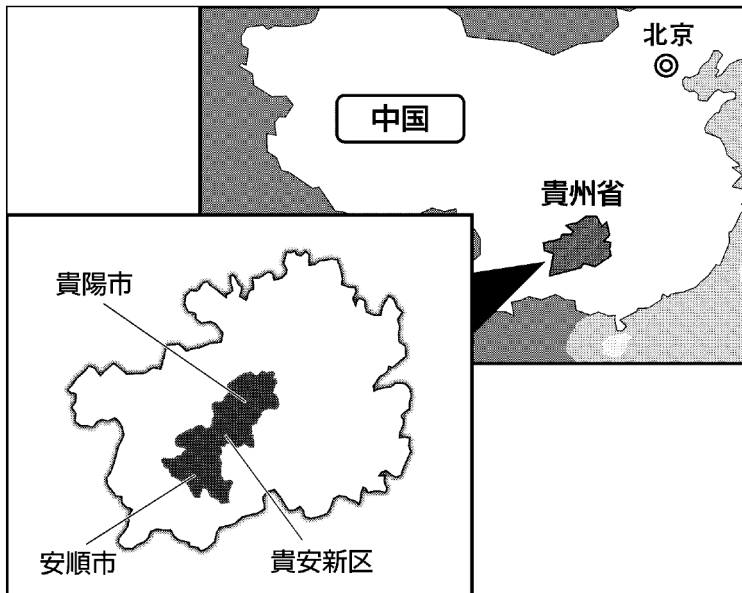
大きく変貌

これが2013年に北京市常務委員だった陳剛氏が貴陽市長に就任し、国内で最安の電

気が、安定した気候、地震が少ない点などが、貴陽を中国のビッグデータ(大量データ)の中心地にするこ

昨今の米中貿易戦争の根底には、西国のハイテク覇権争いがある。中国でそのハイテクをけん引する地域は北京の中関村と広東省の深圳であり、そして貴州省の貴陽市と貴安新区だ。貴州省は中国の西南部に位置し、標高1000m程度の高原地帯のため、年間平均気温は16度C、豊富

内外の巨大ICT企業集結



以来国際ビッグデータ産業博覧会が毎年開催

一方、中央政府は14

年を「ビッグデータ元年」と位置付け、15年6月には習近平国家主席が貴州省を視察し、経済発展と生態環境の二つの路線を維持するよう求めた。そして貴陽市と隣の安順市の中間に国家級新区として広大な貴安新区を設立した。貴安新区は全国8区目の国家級新区で、西部地区の経済成長を促す。加えて、内陸開発型経済の新拠点、エコ文明モデル地区という三つの戦略的位置付けを担うこととなった。貴陽市とともに国家と省の全面的な支援の下、空港や高速鉄道、高速道路と交通インフラや高速通信ネットワークが整備されていた。最適な地

(金曜日掲載)